管理会社ノート

日本財託

ごみゼロデーに街頭清掃

トング、袋片手に新宿の街を美化

日本財託
（東京都新宿区）
重吉勉社長（49）

日本財託（東京都新宿区）は、ごみゼロデーの5月30日、社員が街を掃除する清掃活動を行った。

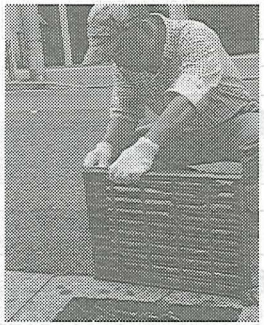
早朝から、NPO法人日本を美しくする会が主催する「新宿街頭清掃活動」に、重吉勉社長も含め10人の社員が参加。

集合は朝5時45分で、6時から一時間にわたり、新宿駅東口周辺を清掃した。側溝のフタについた泥や溝につまったごみ、路上にこびりついたガムなどもそれぞれ手作業で除去したという。

昼には新宿区が主催する「新宿区一斉道路美化清掃」に社員20人が参加。ごみ袋を片手に新宿駅西口周辺のごみをトングで拾った。

参加者は、「30分もたないうちに袋がたばこの吸い殻でいっぱいになり、こんなにごみが落ちているものなのかと実感した」という。

オフィスがある新宿の清掃活動を通じ、「街に恩返しができた」という社員の声も上がった。



▲新宿区の清掃活動に参加する社員
◀重吉社長自ら側溝を掃除